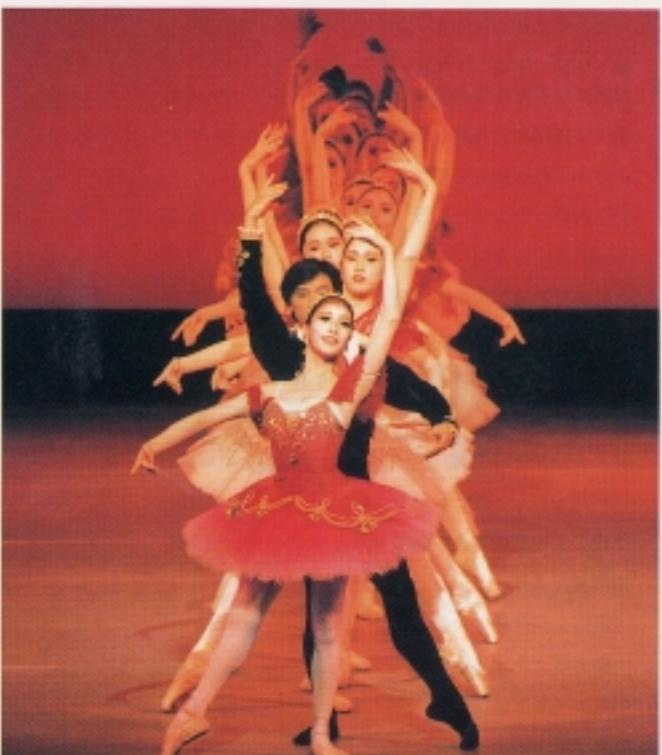


ひろしまの文化

本刊中身は歌や子供の絵画を除く全記事が県内外の文化団体による大企画や見本市や祭りなどの開催情報を載せたもので、その他の企画や会員登録などは、この専用ページにてお問い合わせください。また、定期的に開催される「ひろしまの文化」は、毎月第一金曜日午後6時より放送されます。



第17号 広島県文化団体連合会



マスコットキャラクター
「パンちゃん」

—もくじ—

県文連の目次と展望	1
広島県文化団体連合会 会長 国利義勇	
プレ国民文化祭・第9回県民文化祭開催状況	3
・開催結果	
・文芸祭表彰者一覧	
・舞台系事業表彰団体一覧	
第10回(平成11年度)	
県民文化祭地区大会開催日程	4
第14回国民文化祭・ぎふ99	5
・日本民族研究会広島支部	
・尾道フラウエンコール	
・五日市吹奏楽団	
・吟道賀来流賀久清吟詠会	
・STUDIO.U.D.	
第15回国民文化祭・ひろしま2000	9
・幕末事業一覧	
第19回文化講演会	11
～八方のちょっとしたおはなし～	
平成11年度理事会の開催	12
市町村だより	13
・呉市文化団体連合会	
・能美町文化団体連合会	
平成11年度後援事業	14
編集後記	14
広島県文化団体連合会構成団体一覧表	裏表紙

表紙の説明
プレ国民文化祭・第9回県民文化祭の写真

題字
故仁井岡武司元会長の揮毫による

県文連の回顧と展望

1 県文連の歩み

歳月は容赦なく流れる。その小刻みの中に本会を結成してから20年を迎えるとしている。

思えば昭和55年の2月、縮景園の紅梅が咲き始めた県立美術館の応接室に仁井岡武司文化団体連合会会長と県教育委員会文化課長、それに各地区の有志が集い、本県文化の振興を話し合った。そして県内市町村の文化団体の結集を図るべく準備委員会を作った。

文化課の精力的な斡旋で規約も整い、昭和56年の春に結成総会を開いた。参加団体は27団体で、会長に仁井岡武司さんを推し、各教育事務所単位の地区支部長を常任理事とした。こうして、広島県文化団体連合会が発足して今日に至っている。それまでの歩みを要約すれば

- (1) 組織づくり……県内86市町村の中、77文化団体の加入
- (2) 懸賞論文募集
- (3) 文化研究会等講師招へい事業
- (4) 文化講演会
- (5) 文芸大会
- (6) 県民文化祭
- (7) 機関紙発行「ひろしまの文化」
- (8) 全日本文化団体連合会へ加入
- (9) 県の文化行政への協力と国民文化祭の誘致等

であった。当初事務局は、県教育委員会文化課にあったが、組織変更により県民生活部に移った。

これも県民生活の実質的向上と国民文化祭の誘致を見越してのことであり、県民文化祭の継続と充実が力になったように思う。



広島県文化団体連合会
会長 国利 義勇

2 県民文化祭とその実績

本会が10年を経て、一層の飛躍をと思い県民文化祭をはじめた。わが県は中国地方の中心部にあり、北は中国山地を背梁にして南に傾斜して瀬戸内海に展ける。気候は温暖で花崗岩質の古層の上にあり安定して比較的災害も少ない。また、瀬戸内の交通と山陰との連絡も良く、古来から産業も生活にも恵まれた。従って穏やかな県民性は多くの伝統文化をもち、新しい芸能文化にも積極的にとりくんだ。

県内8地区で地区大会を開催し、その成果に広島市の参加を得て県大会に結集する。文芸大会も加えて年々内容も充実して評価を得ている。この花絵巻は県民の華であり一体感を作っている。これを国民文化祭へどのようにアピールするか。

3 国民文化祭への取り組み

いよいよ国民文化祭は今秋になった。ときあたかも、第15回国民文化祭・ひろしま2000は新世紀の扉にかかる。この大会にわれわれのアイデンティティをどのように組み立てるか。本県の文化ビジョンも「広島を文化交流拠点」にするということにある。その2面の調和。

激動の今世紀の中で、広島は原爆被災都市となり無残にも壊滅した。広島の土を踏む足裏に20万人の悲泣がある。でも広島は死ななかつた。県民の総力で復興させた不屈の意思、死を語り生を語り平和を語ってほしい。広島を流れる平和の川は永遠に美しい。それに併せて中国山地の山と川の風土、海域から創り出されたそ

れぞの伝統文化や新しい文化活動を提示したい。それらはまた新しい日本文化の創造になるであろう。

4 新しい日本のかたち

21世紀に当たり「文明の衝突」の著者であるハッチントンは言う。いま地上にある西欧文明、日本文明、イスラム文明など多極的文明も生成、発展、衰退の過程をたどると予測する。そして文明の衝突をいう。その中で日本文明の特異性を指摘するが、複雑な世界情勢の中で日本の文化と文明をどうするか。足腰の強い日本の文明を作るとすれば、それは品位のある平和な文化を築かなくてはならない。これこそ世界への地歩である。

文化の基本は未来への輝きである。地域や地方とそれが中心となる同郷異中心的重層である。このかたちを大切に思う。

5 県文連の課題とその展望

われわれの県文連は、日本文化の部分である。そのことから本会の当面する課題はつぎのように思う。

- 組織の充実……全県加入を実現したい。ことに広島市の参加を得たい。また、分野別団体を含めて名実共に「広島県文化協会」にすること。
- 中国地方五県のうち、全文連加入は本県と鳥取県である。他県に働きかけて中国地方の文化圏を作るようになしたい。
- およそ文化活動は自主的でなくてはならない。自主的に運営できるように法人化したい。
- そのためには、活動基盤の確立が必要である。自主財源の確保をどうするか。

何はともあれ、県文連には未来がある。



プレ国民文化祭・第9回県民文化祭の開催状況

国民文化祭のリハーサルともいえる「プレ国民文化祭」と全県規模で開催する総合的な文化の祭典「第9回県民文化祭」は、10月9日（土）の「開会式・民謡民舞の祭典」にて開幕しました。また、11日に広島厚生年金会館で開催した「総合フェスティバル」は、尺八奏者の坂田誠山さんや歌手の西城秀樹さんの出演で、会場は1,400人を越す観客で盛り上がりました。また、第15回国民文化祭・ひろしま2000のマスコットキャラクター「ブンカッキー」や文化大使が登場して、1年後の開催をPRしました。

分野別フェスティバルは、11月14日までの日・祝日を中心に県内21会場19分野において開催しました。舞台の分野においては出演団体から最優秀団体9団体、優秀団体25団体を、また文芸大会においては、広島県知事賞等、70名を表彰しました。

このうち、舞台系最優秀団体は、平成12年11月に広島県で開催される『第15回国民文化祭・ひろしま2000』に出場する団体の候補となります。

県民文化祭実行委員会事務局

プレ国民文化祭・第9回県民文化祭 [文芸祭表彰者一覧]

区分／開催日／会場	入賞者
川柳 10月17日（日）大竹会館講堂	【広島県知事賞】 廣野青島（福岡県） 【広島県議会議長賞】 河合克彦（香川県） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 橋田幸郎（広島市） 【広島県教育委員会賞】 野村裕志（山口県） 【大竹市長賞】 東谷元彦（山口県）
俳句 〈一般の部〉 11月7日（日）広島県文化センターふくやま	【広島県知事賞】 小林幸子（福山市） 【広島県議会議長賞】 露村珠美（福山市） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 阿部敏夫（瀬戸町） 【広島県教育委員会賞】 近藤敏子（大飯郡） 【福山市長賞】 和田潤壽（福山市）
(小・中・高生の部) 11月7日（日）広島県文化センターふくやま	【広島県知事賞】 新田亮生（福山市） 【広島県議会議長賞】 鹿谷直（因島市） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 三戸千恵子（呉市） 【広島県教育委員会賞】 小林弘枝（福山市） 【福山市長賞】 石井利次郎（福山市）
豪宕詩 〈高校生・一般の部〉 11月13日（土）三原リージョンプラザ	【広島県知事賞】 山下龍太（神辺町） 【広島県議会議長賞】 万龜桂子（庄原市） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 井齋耕一（庄原市） 【広島県教育委員会賞】 神尾達夫（庄原市） 【三原市長賞】 村上紀久樹（山口県）
(小・中学生の部) 11月13日（土）三原リージョンプラザ	【広島県知事賞】 久野慶実（三原市） 【広島県議会議長賞】 永里藍（若狭町） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 福塙千夏（呉市） 【広島県教育委員会賞】 太郎田桂子（三原市） 【三原市長賞】 表田ゆうこ（鏡美町）
短歌 〈一般の部〉 11月14日（日）たけはら美術館	【広島県知事賞】 小田ハルエ（広島市） 【広島県議会議長賞】 舟島禪子（三次市） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 村上恵志（広島市） 【広島県教育委員会賞】 山本雅子（広島市） 【竹原市長賞】 小川浩志（早島町）
(小・中・高生の部) 11月14日（日）たけはら美術館	【広島県知事賞】 井上晴華（神辺町） 【広島県議会議長賞】 植野由衣（三原市） 【第15回国民文化祭広島県実行委員会会長賞】 吉本明美（広島市） 【広島県教育委員会賞】 渡安典華（神辺町） 【竹原市長賞】 藤井恵子（神辺町）



综合フェスティバル



民謡民舞の祭典



文芸祭の表彰式

プレ国民文化祭・第9回県民文化祭舞台系事業表彰団体一覧

区分／開催日／会場	最優秀団体	優秀団体
民謡民舞の祭典 10月9日(土) アステールプラザ大ホール	原田流直希会(神辺町)	具音口の舟唄愛好会(呉市)
		広島県民踊協会柴田教習吉舎支部(吉舎町)
		広島県民踊協会八千代支部(八千代町)
吟詠剣舞道祭 10月10日(日) 広島県民文化センター	賀城流広島吟詠会本部・玉翠流翠混会員(呉市)	玉翠直門広島連合会翠宝文部(広島市)
		紫翠流静翠会(福山市)
		正氣流剣舞術剣城会(広島市)
吹奏楽の祭典(コンサート部門) 10月11日(振替) 広島郵便貯金ホール	五日市吹奏楽団(広島市)	廿日市吹奏楽クラブ(廿日市市)
		安佐北シンフォニックウインズ(広島市)
		西城ブルー・ハーモニー吹奏楽団(西城町)
合唱の祭典 10月11日(振替) 呉市文化ホール	フェミニンコール(広島)(広島市)	佐伯女声合唱団(広島市)
		東城コールエコー(東城町)
大正琴の祭典 10月16日(土) 三次市文化会館	大正琴ひまわり会(能美町)	大正琴琴成流(福山市)
		つくしんぼアンサンブル(庄原市)
民俗芸能の祭典(太鼓) 10月17日(日) 神石コスモドーム	和太鼓団(内海町)	三次太鼓育成会(三次市)
		和太鼓まれびと(広島市)
		鳥神太鼓(大野町)
	銚子太鼓	山川流高杉会(連合)(大野町)
		森川流銚子太鼓組(東広島市)
		極浦流銚子太鼓大朝支部(大朝町)
邦楽の祭典 11月6日(土) 県民文化センターふくやま	尾道邦楽会(尾道市)	呉三曲会(呉市)
		吉田邦楽クラブ(吉田町)
		連山会(戸河内町)
日本舞踊の祭典 11月14日(日) 南区民文化センター	花ノ木寿次社中(三次市)	祐秀の会(因島市)
		東広島舞踊協会(東広島市)
		花柳鮎北呂社中(加計町)

第10回(平成11年度)県民文化祭地区大会日程

地区名	大会名称	日 時	会 場
西 部	第10回佐伯地区文化交流発表会	平成11年11月21日(日)	湯来町総合福祉センター
	第10回県民文化祭西部沿岸地区大会	平成12年2月27日(日)	大竹会館講堂(アゼリアホール)
	第13回江能地区文化交流発表会	平成11年6月27日(日)	江田島町中央公民館
賀茂・東広島	第10回県民文化祭賀茂・東広島地区大会	平成12年1月30日(日)	豊栄町総合文化センター
呉・安芸	第10回県民文化祭呉・安芸地区大会	平成12年2月13日(日)	坂町民会館
山 県	第10回県民文化祭山県地区大会	平成11年12月5日(日)	戸河内町ふれあいセンター
高 田	第10回県民文化祭高田地区大会	平成11年12月12日(日)	甲田町若者定住センター「ミューズ」
尾 道	第10回尾道教育事務所管内総合文化祭	平成12年2月20日(日)	因島市民会館
		平成12年2月27日(日)	しまなみ交流館
		平成12年3月5日(日)	瀬戸田ベルカントホール
福 山	第10回県民文化祭福山地区大会	平成12年2月20日(日)	神辺町文化会館
備 北	第10回県民文化祭備北地区大会	平成12年3月5日(日)	庄原市民会館



日本のまん真ん中から 新世紀へ――

第14回国民文化祭・ぎふ99

平成11年10月23日(土)~11月3日(水)



ぶらすくん

「第14回国民文化祭・ぎふ99」は「日本のまん真ん中から新世紀へ」をテーマに、平成11年10月23日(土)から11月3日(水)までの12日間、岐阜県内34市町村においてさまざまな分野で開催されました。

広島県からは、平成10年度(第8回)県民文化祭の最優秀団体等に出場していただき、その感想を寄せいただきました。

民謡・民舞の祭典

【平成11年10月24日(日) 高山市民文化会館】

日本民踊研究会広島支部(広島市)馬場豊寿鶴

国民文化祭への出場は初めての事で、高山市実行委員会の皆様への連絡の色々に対して、その都度大変親切丁寧で本当にありがとうございました。控え室はとても狭くて、仕度に時間がかかりました。

しかし、案内係の方々がとても親切で良かったと思います。会場が遠くそのうえ待ち時間が長すぎて大変でした。また、各地方の演技を見せていただき参考にと思いましたが、出演者は控室以外へ出られず、他の踊りを見ることができず残念でした。舞台では、出演前に宮島の風景とともに紹介いただき、私達は舞台いっぱい日頃の演技ができて大変うれしく、元気に広島に帰ることができました。いろいろと勉強させていただきありがとうございました。

今後ますます勉強して、第15回国民文化祭・ひろしま2000に向けて勉強していきたいと思いますので、よろしくご指導の程お願いいたします。ありがとうございました。



第14回国民文化祭・ぎふ99 民謡・民舞の祭典へ出演のようす

合唱の祭典

【平成11年10月24日(日) 多治見市文化会館大ホール】

尾道フランクエンコール(尾道市) 笹山恭子

第8回県民文化祭での「最優秀賞」という名誉ある賞の受賞から1年後。1999年10月23日に岐

阜県多治見市文化会館でのリハーサルの舞台に私達は立っていました。バスで尾道をたち、6時間後のことでした。私達も緊張していましたが、会場を設営されるスタッフの方々も本番に向けて最終の慌ただしさの中「いよいよなのだ」という心地よい一体感が私達を包んでいました。

この国民文化祭「合唱の祭典」で特に印象深く心に残ったことは、会場のそこ、ここに多治見市の子ども達の元気な姿があったことです。歓迎レセプション会場ではジュニア合唱団の明るい出迎えの声、当日、ウェルカム合唱団として会場前広場で朝早く響いた未来への歌声。各団の紹介をしてくれた凛とした子ども達の姿。この心和む演出で笑顔も勇気もいっぱい満たすことができました。私達も大変気持ち良く歌うことができ、期待に胸をふくらませて臨んだ、新実徳英先生の指揮によるエンディング曲を感動のうちに歌い終えました。合唱を生涯の友として、自らの磨きの場として、今後も努力を重ねていきたいと心より思える貴重な体験となりました。関係の方々に深く感謝いたしますと共に、第15回国民文化祭・ひろしま2000の成功を念じております。



第14回国民文化祭・ぎふ99 合唱の祭典へ出演のようす

吹奏楽の祭典

【平成11年10月24日（日）土岐市文化プラザサンホール】

五日市吹奏楽団（広島市）田中佳之

この度は、第14回国民文化祭・ぎふ99「吹奏楽の祭典」に出場させていただきまして、ありがとうございました。

私たち五日市吹奏楽団は1977年結成以来、地域に密着した活動を続けておりますが、今回のように全国の仲間と共に、一つのものを作り上げるイベントに参加することはあまりないものでした。それゆえに団員一同、当日の小・中・高・大・職場・一般と全ての部門から参加された吹奏楽の仲間の演奏は、とても刺激になり、感動的で学ぶことの多いものでした。迫力のサウンド、ステージ狭しと繰り広げられるパフォーマンス、真剣なまなざし、めいっぱいの笑顔等々、心がひきつけられるものばかりでした。その中で私たち五日市吹奏楽団も演奏できる喜びを噛み締めながら、大いに楽しく演奏することができました。また、藤田知事より預りました親書を土岐市長にお渡しした時の会場からの温かい拍手は第15回国民文化祭・ひろしま2000が必ず成功するであろう、いや私たちやみんなの手で成功させようと改めて心に強く思う瞬間がありました。

今回の経験は、私たち五日市吹奏楽団には、これまでの活動を振り返り、そしてこれから活動を考えるに大きな意味をもつものとなったと確信しております。今後も私たちは地域に密着した活動を中心に「吹奏楽」を通して、少しでも多くの皆様に親しまれ、愛される楽団を目指していこうと思います。そして、活動させて頂いている感謝の思いを胸に、吹奏楽や音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えいけたらと願っております。

最後になりましたが、広島県ならびに岐阜県土岐市の関係者の皆様には大変お世話になり、団員一同、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



第14回国民文化祭・ぎふ99「吹奏楽の祭典」へ出演のようす

全国吟詠剣詩舞道祭

【平成11年10月24日(日)長良川国際会議場】

吟道賀堂流賀久清吟詠会(府中町) 藤河賀久清

私たち吟道賀堂流賀久清吟詠会女子25名は、第14回国民文化祭・ぎふ99「全国吟詠剣詩舞道祭」出演のため、会場の長良川国際会議場メインホールに向かいました。

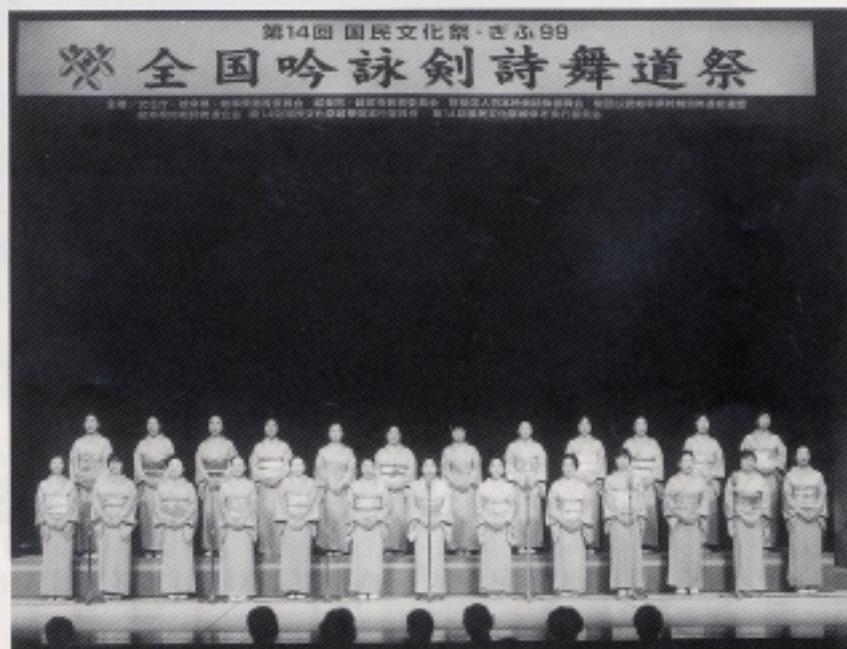
全国から参加した出演者と観客であふれんばかりの会場では、地元の子ども達による吟と舞のオープニングに始まり、全国選抜女性の「祝賀の詞」に統いて、第一部として、全国都道府県推薦の25名編成56団体の合吟が始まり、私たち賀堂流賀久清吟詠会は広島をアピールする意味から、最後の広島城主・浅野坤山作の「嚴鳥」を吟じました。

第二部は、日本吟剣詩舞振興会本部企画構成吟剣詩舞「日本の慕情」で、私も広島の吟友山本賀陽さんと共に出演、和歌「大君の」(糸月照作)と「月照十七回忌辰の作」(西郷隆盛作)を吟じました。

第三部の地元企画吟剣詩舞「ぎふに生きし人々ー美濃・飛騨贊歌」、フィナーレに引き続き、吟剣詩舞道祭旗の引渡式があり、河野吼山広島県総連会長、梅田賀久秀県総連理事長と共に私も「第15回国民文化祭・ひろしま2000」吟詠剣詩部門の座長としてその任を果たし、吟剣詩舞道祭旗を持ち帰りました。

また、夜の歓迎パーティーでは藤田広島県知事から託された親書を浅野岐阜市長に直接お渡しし、来年の開催地広島の企画委員を代表してあいさつする機会を得ました。

全国の素晴らしい吟と舞を直接鑑賞できた会員は、大変感動し、終日介添えいただいた献身的な地元吟剣詩舞道家の行き届いた行為に感謝、感激して帰広の途に着きました。平成12年の「第15回国民文化祭・ひろしま2000」の成功に向けて、献身する決意を新たにしました。



第14回国民文化祭・ぎふ99「全国吟詠剣詩舞道祭」へ出演のようす

洋舞フェスティバル モダンダンスの部

【平成11年10月31日(日) 各務原市民会館】

STUDIO.U.D. (広島市) 友田美有紀

「第8回県民文化祭洋舞フェスティバル」に参加して、最優秀賞という素晴らしい賞をいただくとともに、国民文化祭出場というキップも手にし、とてもうれしく思いました。

まさか、私達の団体が広島を代表して全国の数々の団体と同じステージに立てるとは思ってもいませんでした。同時に、県代表として皆さん的心に残る作品を披露したいと思い、本番まで練習を繰り返しました。

開催前日に、岐阜に入り次の日は本番というのに、みんな初めての岐阜でワクワクしているようでした。宿泊先を自分達で調べて行かなくてはいけなかったので無事に着くか不安でしたが、町の人たちに聞いてなんとかたどり着くことができました。旅館からはなんと岐阜城は見えるし、鵜飼で有名な長良川は目の前に広がっていて、心がすごく和みました。

当日の会場も、自分達で調べて行かなければいけなかったのでこれはかなり不安でしたが、なんとか到着しました。

到着後は、すぐリハーサルだったので、気持ちもバタバタして、勝手を知らないステージなので、それもプラスしたのか、今までとは違う緊張感を味わいました。

ボランティアで手伝ってくださったスタッフの方々の心配りに感謝しています。自分たちのことで精一杯だったので、スタッフの方のサポートは本当に助かりました。

本番では、自分たちの力をすべて発揮できるように、一人ひとりが頑張ったと思います。

大変素晴らしい機会を与えて頂きありがとうございました。



第14回国民文化祭・ぎふ99 洋舞フェスティバルへ出演のようす

国民文化祭
開催状況



国民文化祭は昭和61年度に、当時の三浦朱門文化庁長官が提唱し、東京都で最初に開かれました。その後毎年、都道府県持ち回りで開催し、これまで、熊本県、兵庫県、埼玉県、愛媛県、千葉県、石川県、岩手県、三重県、栃木県、富山県、香川県、大分県と順次開催され、平成11年度には岐阜県において第14回大会が盛大に開催されました。

平成12年度は、「広がる生命　輝く未来」をテーマに、第15回大会が、平成12年11月3日(祝)から11月12日(日)までの10日間、広島県で開催されます。

成功させよう！



ブンカッキー

第15回

広がる生命 輝く未来 国民文化祭・ひろしま2000

平成12(2000)年11月3日(祝)~11月12日(日)

いよいよ今年の11月3日の文化の日から12日までの10日間、中国地方で初めて国民文化祭が開催されます。

「広がる生命（いのち）輝く未来」をテーマに、「民謡民舞の祭典」、「オーケストラの祭典」、「演芸競演会」のほか、「神楽フェスティバル」、「ファッションショー」、「お好み焼きフェスティバル」、「生活文化総合フェスティバル」といった音楽、伝統芸能、生活文化などさまざまなイベントや、「島めぐりシンポジウム」、「世界遺産から伝える広島のメッセージ」など、瀬戸内海の歴史や文化に関するシンポジウムもあり盛りだくさんです。広島の特色を生かした45の催しが、県内の39の市町村において繰り広げられます。

イメージソング決定

国民文化祭・ひろしま2000のイメージソングを作成するため、全国の次代を担う20歳未満の若者たちから平成11年3月1日から5月20日までの間、曲と詞をセットで募集したところ、178作品の応募がありました。

そのうち、平成11年8月2日に行われた公開選考会に臨んだのは、事前選考をパスした16曲でした。みごと最優秀賞に輝き国民文化祭・ひろしま2000のイメージソングに決定したのは、庄原市の県立庄原格致高等学校3年生の松村春菜さんの「未来の風」でした。「未来の風」は、詞とメロディーが調和し、親しみやすく、誰にでも口ずさめるところが評価されました。このイメージソングは、国民文化祭終了後は、県民文化祭のイメージソングとして歌いつづけて行くこととしております。

国民文化祭旗引継ぎ

昨年岐阜県で開催された「国民文化祭・ぎふ99」の閉会式で、岐阜県から次期開催県の広島県に国民文化祭旗が引継がれました。

統一のシンボルマークは、昭和61年の第1回大会から採用されたものでグラフィックデザイナーの福田繁雄さんのデザインです。これからもさまざまな行事でPRに一役買います。



国民文化祭旗引継ぎのようす

プレ国民文化祭を開催

開催機運の醸成とリハーサルを目的に開催したプレ国民文化祭は、平成11年10月9日のアステールプラザ大ホールで行われた「開会式・民謡民舞の祭典」を幕開きに、11月14日までの間、県内9市4町21会場で、17の事業が開催されました。

10月11日に行われた「総合フェスティバル」では、比治山女子中・高等学校生徒による詩と演劇と音楽の共同制作や、音戸清盛太鼓と武田ジャズダンススタジオの共演などのコラボレーション、さらに広島出身の尺八奏者坂田誠山さんや歌手西城秀樹さんも登場して、大いに盛り上がり、クライマックスはイメージソング「未来の風」を全員で大合唱し、感動のうちに幕を下ろしました。

ブンカッキー残日計設置

県庁本館一階の正面玄関ロビーに国民文化祭の開幕までをカウントダウンするマスコットキャラクター「ブンカッキー」の残日計が設置されました。

平成12年1月7日に残日計の除幕式があり、国民文化祭広島県実行委員会会長でもある藤田雄山知事や企画委員会委員長の井上一清エリザベト音楽大学学長、それに広島市内の保育園児も加わって除幕されました。

作品募集

国民文化祭・ひろしま2000には「文芸」「美術」「書」など子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しく参加できる事業が数多くあります。皆さんも気軽に応募して、参加と交流の輪を広げてみませんか。

[募集事業一覧]

事業名	募集部門	内容	開催地	応募受付期間
文芸祭	別紙 一般の部 小・中・高校生の部	1人2首まで	三原市	H12.6.1(土)~6.30(金)
	俳句 一般の部 小・中・高校生の部	〔事前控印〕2匁1組で1人3組まで〔小・中・高校生は1人1組〕 〔当日控印〕1人1句	福山市	
	絵本 小・中・高校生の部	〔事前控印〕1人2句以上。審題 〔事前控印〕「絵」「本まれる」「和紙」「にっこり」「元気」「読みやす」 〔当日控印〕「絵」「本」「不思議」「山」	大竹市	
	通句 高校生・一般の部	歌詞「平歌尚」。歌起・巷所は不可	呉原市	
	現代詩 高校生・一般の部 小・中学生の部	1人1編。400字詠め原稿用紙(A4版)を使用し、縦書きで本文が3枚以内	三原市	
国際映像祭	ビデオ作品	募集テーマ「生きる」。上映時間は15分以内のもの	庄原市	H12.5.1(月)~5.31(木)
美術祭	日本画	1人1点。20号以上50号以内の平面作品	庄原市	H12.8.26(土)~8.29(火) (予定)
	洋画	1人1点。20号以上50号以内の平面作品(絵画は20号以下でも良い)		
	彫刻	1人1点。高さ2m×横2m×奥行2m以内、重さ200kg以内の立体作品		
	工芸	1人1点。分野は、陶磁・漆・木・象嵌・磁・ガラス・金属・七宝・皮器・人形・その他		
	写真	1人2点以内。半切のモノクロ又はカラープリントで、單写真		
メディアアート祭	静止画	募集テーマ「夢・未来」。作品をA3サイズでプリントアウトしたもの及び作品データを添付	庄原市	H12.6.15(木)~6.31(木)
	動画	募集テーマ「夢・未来」。作品は10分以内とし、本編とは前に1分程度のデーターテープを添付		
書と筆の祭典	書	1人1点。分野は、漢字・かな・調和体(近代書文體)・楷書・篆刻及び刻字。重さ10kg以内	福山市	H12.8.26(土)~8.29(火) (予定)
	水墨画	1人1点。20号以内の平面作品	川尻町	
夢の未来・22世紀を描く美術祭	幼児(4.5歳児)	平面及び立体作品を1人1点又は1グループ1点。募集テーマ「だいすき生きているものたちを表そう」	福山市	H12.8.26(土)~9.15(祝)
	小学生	平面及び立体作品を1人1点又は1グループ1点。募集テーマ「生き物とわたしの世界を表そう」		
	中学生	平面及び立体作品を1人1点又は1グループ1点。募集テーマ「生き物の不思議を感じて表そう」		

ご希望の方には、募集要項をお送りします。※印のついた事業は応募料が必要です。

【お問合せ先】〒730-8511 広島市中区基町10-52
第15回国民文化祭広島県実行委員会事務局
TEL 082-222-3774



第19回文化講演会

日 時 平成12年2月26日(日)

場 所 府中市文化センター大ホール

講 師 月亭八方さん



講師 月亭八方さん

平成12(2000)年2月26日(土)、府中市文化センターにおいて、広島県文化団体連合会と府中文化連盟の主催により「第19回文化講演会」を開催しました。

講師に落語家の月亭八方さんをお迎えし「八方のちょっとしたおはなし」と題しての講演と地元府中文化連盟所属の11の文化団体による舞台発表という次第で会を進めて参りました。舞台発表は、市外からお越しになるお客様に「府中の文化」に触れていただこうという趣旨で企画し出演者の関係者はもちろん、たくさんの方々に満喫していただいたと自負しております。

月亭八方さんのお話は、落語家ならではの話術、終始歯切れが良くユーモアあふれるものでした。幼少の頃のお話から家族とのふれあい、青春時代には野球に全身全霊を傾けたこと等、八方さんのプライベートストーリーに参加者の皆さんは、時を忘れ熱心に聴講されていました。八方さんご自身の「落語という文化活動を通じて人間にも幅ができ、いろいろな人との出会いの中で自らを具現化することができた。」というフレーズに会場の皆さんはうなずき、目を輝かせていらっしゃいました。

【講師プロフィール】

第15回上方お笑い大賞金賞、第20回では大賞。多数のレギュラー番組を持ち、幅広く活躍している。熱心な阪神タイガースファンでもある。



栗生公民館野ばらコーサ



府中市邦楽連盟

また、この文化講演会を今年11月開催の国民文化祭記念事業の一環として位置付け、ステージでの国民文化祭PRと会場ロビーにはPR用ブースを設け、周知活動を展開しました。府中市におきましても「産業デザインフェスティバル」と「ファッションショー」の2事業が開催されます。これらを成功させるためにも引き続き積極的に文化の普及活動を行い今後ますますの文化発展を促していくかなければなりません。

府中文化連盟会長 内海学丈



文化講演会の会場のようす



「第15回国民文化祭・ひろしま2000」マスコットキャラクターのブンカッキーと文化大使

産業デザインフェスティバル

日時 平成12年11月4日(土)～12日(日)
場所 府中市立総合体育館

ファッションショー

日時 平成12年11月5日(日)
場所 府中市文化センター
時間 13:00～15:30

「第15回国民文化祭・ひろしま2000」をより多くの方々に見て、聞いて、知って、そして参加していただけるよう国民文化祭のマスコット「ブンカッキー」と「文化大使」の上田裕子さんが駆け付けPRを行いました。

府中市で開催される国民文化祭をより盛り上げるため、1階ロビーで国民文化祭等のビデオ上映コーナー、チラシ、グッズ等を並べた紹介コーナー、プレ国民文化祭等の写真コーナーを設けました。

平成11年度理事会の開催

日時 平成11年6月24日(木)
場所 広島県立総合体育館

平成11年度広島県文化団体連合会理事会が、平成11年6月24日(木)に広島県立総合体育館において開催されました。国利会長のあいさつに続き、来賓として鈴岡広島県国民文化祭事務局長より祝辞をいただいた後、議事に入りました。

- 1 会則の改正
- 2 平成10年度事業実施報告及び決算報告
- 3 平成11年度事業計画(案)及び予算(案)
については異議なく承認されました。
- 4 役員の改選については、空席だった賀茂・東広島地区の常任理事に岡光治(河内町文化協会会长)さんが新任され、旧役員については全員再任されました。

報告事項として、全日本文化団体連合会の社団法人化についての報告がありました。

続いて、国民文化祭事務局より、プレ国民文化祭開催概要の説明の後、文化大使とブンカッキーが入場し、6月20日に実施した500日前イベントのビデオを流しながら、第15回国民文化祭・ひろしま2000のPRを行いました。



平成11年度理事会のようす

市町村だより

呉市文化団体連合会の活動

呉市文化団体連合会会长 田尻一美



50周年記念「邦楽舞踊祭」の一場面

呉市文化団体連合会は、昭和24年8月に創立し、平成11年に50周年を迎えました。思えば当時わずか加入20団体で発足した呉文連も半世紀の星霜を経る間に、195団体の大きな組織となりました。平成10年度には、文化活動への参加の機会拡充と地域文化の発展向上に貢献した団体として広島県から「広島県文化功労賞」を受賞しました。

日常の活動としては、毎年5月と11月に市内の文化施設をお借りして、「呉市の春（秋）の文化祭」を実施。芸能・芸術・文芸の3部門が互いに競い合って、地域に密着した高いレベルの活動を続けています。また、各々の団体において独自に発表会を開催したり、複数の団体が横の連携をとりながら、合同発表会を行ったりしています。

中でも、ここ数年間、国民文化祭に呉文連加入のいずれかの団体が出演の機会を与えられています。その影響もあって、県民文化祭員・安芸地区大会には、毎年出演を希望する団体が多く、出演調整に苦慮するほどの盛況振りです。

昨年11月には創立50周年記念行事の一環として「創立50周年記念誌」の発行。さらに「展示部門の総合展」「洋楽とバレエの祭典」「邦楽舞踊祭」等の発表会を開催し多くの市民の方々に平素の活動の一端を鑑賞していただきました。

平成12年度の第15回国民文化祭では、呉市は「いけばな展」「合唱の祭典」「バレエ・モダンダンスフェスティバル」の3事業が実施されます。呉文連としても組織を挙げて、本大会を成功させたいと思っています。

能美町文化団体連合会の活動

能美町文化団体連合会会长 米原猛

能美町文化団体連合会は、平成元年に設立されました。平成11年度は茶華部4団体、工芸部7団体、美術・文芸部8団体、芸能部24団体計43団体の地域の文化団体が加入しており、その会員は633名にも及びます。平成9年度までは中央公民館が事務局でしたが、平成10年度より町の教育委員会が事務局を務めています。また、広島県西部文化団体連合会の事務局もあります。

活動内容としては、町内では、町主催の「能美町美術展」への美術作品の出展があげられます。絵画・書・陶芸・アートフラワー・紙人形など会員の皆さんのお手による作品が会場を彩り、毎年11月上旬に能美町農村環境改善センターで開催されています。

また、同じ時期に芸能団体の「のうみフェスティバル」への出演発表があります。この「フェスティバル」は地域の産業と文化の発展をねらいとしており、中央運動公園のステージで、民謡・詩吟・カラオケなどの団体が出演します。



「公民館まつり」の舞台発表のようす

年度をしめくくる行事としては町教育委員会の主催の「公民館まつり」があります。ここでは、公民館で活動されている団体の1年間の学習の成果を発表する場とともに、ひろく住民にPRする機会もあります。町外での行事として、大正琴・民謡・民舞などの県民文化祭への参加（大正琴ひまわり会がプレ国民文化祭で最優秀賞を受賞）や江能4町の文化団体交流発表大会があります。（毎年6月の最終の日曜日）

今後も町の文化振興のために、事務局や会員と一致協力しながら、活動を回って行きたいとおもいますので、よろしくお願いします。

平成11年度後援事業

事業名	開催期間	主催者
第13回広島文化デザイン会議	H11.8.6(金)~22(日)	広島文化デザイン会議実行委員会
第17回東広島市芸術祭	H11.6.11(金)~13(日)	東広島市委術祭実行委員会
しまなみ海道'99 尾道演劇祭	H11.6.12(土)~7.25(日)	広島県しまなみ海道'99イベント協会
第54回広島県青年大会	H11.8.29(日)	広島県青年連合会
ひろしま県民文化フォーラム	H11.10.13(水)	(財)広島文化振興基金
第32回中国幼年美術夏季大学	H11.8.26(木)~27(金)	中国幼年美術の会
第18大竹児童・生徒書きぞめ大会	H12.1.16(日)	大竹市文化協会
華道一生流竹原支部いけばな展	H12.2.19(土)~20(日)	華道一生流竹原支部・竹原支部婦範会
35周年記念一生流いけばな展	H12.3.19(日)~20(祝)	一生流竹原支部

今年度も、各関係者の皆様のご支援により、県文連の各事業を開催することができました。機関紙「ひろしまの文化」第17号もおかげさまで発行することができました。原稿をお寄せいただきました皆様にはご協力いただきありがとうございました。

さて、今年は「国民文化祭」が中国地方では初めて広島県で開催されます。文化の国体ともいわれています「第15回国民文

化祭・ひろしま2000」の開催に向けて事務局といたしましても、全力をあげて準備を進めて参ります。

今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。



